

(社)日本リモートセンシング学会 第61回(平成28年度秋季)学術講演会プログラム

2016.10.10

水域・雪氷 (A会場, 11月2日(水) 9:30-10:45)		
A 1	ASTER/TIR画像による油膜の厚さ及び温度の同時推定の試み(3)	○高橋 有真・外岡 秀行(茨城大)
A 2	ハイパースペクトルセンサを用いた浅海域の水深分布推定	○角田 里美・有安 恵美子・沼田 洋一(アジア航測)・武田 知己(宇宙システム開発利用推進機構)
A 3	衛星データを用いた南極リュツォホルム湾における定着氷流出の観測	○山之口 勤(RESTEC)・土井 浩一郎(極地研)・中村 和樹(日大)・青木 茂(北大)・澁谷 和雄(極地研)
A 4	ALOS-2とLandsat-8を用いた小型氷河湖の短期間面積変化解析	○永井 裕人・田殿 武雄・鈴木 新一(JAXA)
A 5	複数センサを利用した極東シベリアにおける永久凍土融解の検出	○酒井 徹・松永 恒雄・S. Maksyutov(国環研)・S.Gotovtsev・L. Gagarin(MPI)・檜山 哲哉・山口 靖(名古屋大)
SAR (A会場, 11月2日(水) 11:00-12:00)		
A 6	POLSARデータを用いたInSARに対する電離層の影響の補正	○伊藤 将吾・木村 宏(岐阜大)
A 7	POLSARデータ解析のための体積散乱モデルの比較	○都築 拓馬・木村 宏(岐阜大)
A 8	だいち2号を用いた2015年鬼怒川洪水の後方散乱係数分析	○郭 榮珠・岩見洋一(ICHARM-UNESCO)
A 9	JICA-JAXA熱帯林早期警戒システム(JJ-FAST)のための、PALSAR-2/ScanSARを使った早期森林伐採検出手法(アドバンス)の検討	○渡邊 学・クリスティアン 小山(東京電機大)・林 真智・金子 豊(JAXA)・島田 政信(東京電機大)
システム (B会場, 11月1日(火) 10:00-10:45)		
B 1	UAVによるコンクリート表面点検支援を目的とした錯視誘発画像特徴合成動画の適用性	○山下 剛史(東京理科大)・勝尾 伸一(日本シビックコンサルタント)・中村和弘(国際航業)・広田 健一(日本シビックコンサルタント)・小島 尚人・大和田 勇人(東京理科大)
B 2	高分解能画像分類におけるテクスチャ情報利用の提案	○八嶺 杏平・中村 和樹・若林 裕之(日大)
B 3	超小型衛星用フレキシブル地上システム	○横塚英世(東海大)
B 4	ひまわり8号データダウンロード・処理システム	○根本 利弘・喜連川 優(東大)
陸域(1) (B会場, 11月1日(火) 16:00-17:30)		
B 5	分光反射率を用いた落葉広葉樹のクロロフィル量推定	○蘭部 礼・王 権(静岡大)
B 6	UAV近接リモートセンシングによる水稲の群落表面温度の観測	○田中 圭(日本地図センター)・濱 侃・近藤昭彦(千葉大)
B 7	UAVリモートセンシングによる水稲生育パラメータの推定に関する研究(1)	○濱 侃(千葉大・院)・田中 圭(日本地図センター)・望月 篤(千葉県農林総研)・平田 俊之・新井 弘幸・八幡 竜也(金井度量衡)・樋口 泰浩(新潟県農総研)
B 8	UAVリモートセンシングによる水稲生育パラメータの推定に関する研究(2)	○近藤 昭彦・濱 侃(千葉大・院)・田中 圭(日本地図センター)・望月 篤(千葉県農林総研)・平田 俊之・新井 弘幸・八幡 竜也(金井度量衡)
B 9	フルポラリメトリック地上型円偏波合成開口レーダを用いた稲の長期観測	○泉 佑太・渡邊智郎・M. Z. Baharuddin・S. Demirci・H. Yang・J. T. Sri Sumantyo(千葉大)
B 10	光学衛星センサによる作物・農地特性評価アルゴリズムとそのスマート農業への応用	○井上 吉雄・横山 正樹(農環研)・境谷 栄二(青森県産技研)・後藤 元(山形県農総研)・大下 泰生・牧 夏海(中央農研)・中村 憲治(茨城県農総研)
大気 (B会場, 11月2日(水) 9:30-10:45)		
B 11	蛍光ライダーで観測された大気エアロゾルの蛍光特性 液滴エアロゾルで観測された強い蛍光	○白石 浩一・林 政彦(福岡大)・水谷 耕平・安井 元昭(NICT)・高見 昭憲・吉野 彩子(国環研)
B 12	衛星及び地上から観たバイオマスエアロゾル	○保本 正芳(近畿大)・向井 苑生(京都情報大学院大)
B 13	第8回米国Railroad Valley日米合同GOSAT代替校正実験の報告 紫外～近赤外線反射スペクトルのBRDFと太陽位相角依存性	○荒井 武彦・荒井 武彦・松永 恒雄(国環研)
B 14	地表面反射率と大気の光学的厚さの同時推定法における反復解の性質	○飯倉 善和(弘前大)・眞子 直弘・久世 宏明(千葉大)
B 15	大気データ同化の境界条件となる陸面放射率推定の検討	○広瀬 望(松江工専)
陸域(2) (B会場, 11月2日(水) 11:00-12:00)		
B 16	斜面崩壊形態別・素誘因影響圏の提案と一対比較戦略	○関根 洋佑・小島 尚人(東京理科大)
B 17	Damage assessment of urban areas due to the 2015 Nepal earthquake using TerraSAR-X imagery	○Rendy Bahri・リュウ ウェン・山崎文雄(千葉大・院)
B 18	ALOS/PRISM 30m解像度全球数値標高データ(AW3D30)の初期検証	○田殿 武雄・永井 裕人・石田 治行・織田 史子・内藤 詩乃・皆川 健太(JAXA)
B 19	Effect of De-noising Filters in Increasing the Consistency of NDVI Time Series Data : Case Study of Indonesia	○Sanjiwana Arjasakusuma・Y.Yamaguchi(名古屋大)
観測機器 (B会場, 11月2日(水) 14:50-15:50)		
B 20	小型UAV搭載用可視近赤外カメラシステムの開発と水稲観測への応用	○照井 敬晶・中村 和樹・若林 裕之(日大)
B 21	振動・微小変位可視化レーダVirAの開発	○能美 仁(アルウェットテクノロジー)・坂井滋和(早大)・松本 泰尚(埼玉大)・蘇迪・長山智則(東大)・白井郁夫・九十歩修(アルウェットテクノロジー)
B 22	ASTER TIRの機上校正の現状その2	○佐久間 史洋・菊池 雅邦(宇宙システム開発利用推進機構)・小野 秀彦(富士通)
B 23	ALOS-2/CIRC及びGALET/CIRCの校正検証活動	○外岡 秀行・朝木 萌奈・菅宮 岳(茨城大)・酒井 理人・中右 浩二・桑田 綾香(JAXA)・加藤 創史(産総研)
陸域(3) (B会場, 11月2日(水) 16:00-17:00)		
B 24	Landsat-8 OLIを用いた土地利用土地被覆分類図作成条件の検討	○石原 光則(JAXA)・奈佐原 顕郎(茨城大)・田殿 武雄(JAXA)
B 25	JAXA 日本域高解像度土地利用・土地被覆図の高精度化 (Version 16.09)	○片木 仁(筑波大)・小林健 一郎(RESTEC)・田殿 武雄(JAXA)・奈佐原 顕郎(筑波大)
B 26	多時期土地被覆情報データセット“SACLAJ”の開発	○小林 健一郎(RESTEC)・奈佐原 顕郎・田殿 武雄(JAXA)・大串 文美・道津 正徳・段 理紗子(RESTEC)
B 27	多偏波SAR画像によるテクスチャを用いた土地被覆分類の基礎的検討	○佐無田 夏希・リュウ ウェン・山崎 文雄(千葉大)
特別セッション (A会場, 11月1日(火) 10:00-12:00)		
S 1	クロロフィル蛍光の画像化の歴史—細胞から衛星観測まで—	○大政謙次(東大・院)
S 2	光合成とクロロフィル蛍光	○彦彦 幸毅(北大・院)
S 3	人工衛星による太陽光誘起クロロフィル蛍光観測の概要と今後の発展	○野田 響(国環研)・今須良一(東大)
S 4	様々な個葉モデルに対応可能な樹冠スケールの 太陽光誘起クロロフィル蛍光モデルの開発	○小林秀樹・小林秀樹(JAMSTEC)・Wei Yang(千葉大)
S 5	太陽光を利用した群落レベルでのスタンドオフ植物蛍光測定	○栗山 健二(静岡大)・眞子 直弘(千葉大)・本間 香貴(東北大)・久世 宏明(千葉大)
S 6	SIFの地上観測 - 農地・森林での例	○加藤 知道・辻本 克斗(北大)・奈佐原 顕郎・秋津 朋子・浅沼 順(筑波大)・小野 圭介・宮田 明(農研機構)
S 7	FLEX植物蛍光観測をサポートする航空機搭載LIFSライダー	○齊藤保典・富田孝幸(信州大)・水谷耕平(NICT)・白石浩一(福岡大)
実利用 (B会場, 11月1日(火) 10:00-10:45)		
U 1	ALOS-2による新しい芸術表現の試み	○大木 真人(JAXA)・鈴木 浩之(金沢大)
U 2	UAV空撮による2016年熊本地震の被害把握と3次元モデル作成	○久保佳澄・田邊謙士・山崎文雄(千葉大)
U 3	深層学習を用いた航空機ハイパースペクトルデータによる樹種分類	○小田川信哉(アジア航測)・武田知己(宇宙システム開発利用推進機構)

ポスターセッション (P会場, ポスター展示)

コアタイム: 奇数番号 13:00-13:40 / 偶数番号 14:00-14:40

実利用(ポスター) (P会場, 11月1日(火), 2日(水) 13:00-14:40)		
U 4	DEMデータのスローブ図を用いた地質判読 - ミャンマー連邦共和国タンダーリ管区錫・タングステン鉱床 -	○三石 真祐暉・田中 隆之・中村 英克(JOGMEC)
U 5	路面性状調査のための畳み込みニューラルネットワークを用いたひび割れの自動判読に関する研究	○篠原崇之・李 勇嶺・坂元 光輝・佐藤 俊明(パスコ)
U 6	Hyperspectral image classification based on Boosted Rotation Forest	○J.XIA・岩崎 晃(東大)
U 7	東日本大震災における被災後の高分解能衛星画像を用いた深層学習による建物流出認識	○石井 友(AIST)・松岡 昌志(東工大・AIST)・中村 良介・彦坂 修平・今泉 友之・藤田 監斗・伊東 里保(産総研)
U 8	関係性モデルを用いた偏波SAR画像からの光学画像推定	○戸泉 貴裕・鳥屋 剛毅・先崎 健太・仙田 裕三(NEC)
U 9	ブランド米の生産管理へのリモートセンシング・GISの利用	○境谷 栄二(青森産技セ)・三上 竜平(青森県庁)・小野 浩之(青森産技セ)・寺田 守宏(青森土地連)・須藤 弘毅(青森産技セ)・井上 吉雄(農環研)
U 10	航空機搭載センサによる上空からの野生生物の検出 ~ LPの利用 ~	○宮坂 聡・田村 恵子・吉田 夏樹・宇野女 草太・大崎 裕司・木谷 一志(中日本)
U 11	干渉SAR処理と成果を用いた科学技術教育の実践と評価	○伊藤 陽介・池光 洋(鳴教大)
ポスターセッション(1) (P会場, 11月1日(火) ポスター展示13:00-14:40 (P1)-(P30))		
P 1	干渉SAR解析を用いた大規模構造物(フィルダム)の変位計測への適用性検討	○森田 保成・三五 大輔・清水 祥・福島 芳和・吉川 和男(パスコ)・佐藤 弘行・小野寺 葵(国総研)
P 2	作物判別のためのALOS-2/PALSAR-2全偏波画像とSPOT画像の比較	○米澤千夏(東北大・院)
P 3	Fundamental study on soil moisture variations under vegetation influencing L-band SAR backscatter - implementations for the development of an advanced forest monitoring system	○小山 クリスティアン・渡辺 学(東京電機大)・佐藤 源之(東北大)・カール シュナイダー(ケルン大)・島田政信(東京電機大)
P 4	干渉SAR解析と地形表現図を組み合わせた新たな地表断層抽出手法の研究	○三五 大輔・小俣 雅志・郡谷 順英(パスコ)
P 5	GPSデータを用いた干渉SAR時系列解析による地盤変動量解析	○六川 修一・中村 貴子(東大)
P 6	数値表層モデルを用いたPS-InSAR解析におけるPS点対付けシステム	○鳥屋 剛毅・先崎 健太・塚田 正人(NEC)
P 7	Cバンド合成開口レーダを用いたツンドラ湖水モニタリング	○池浦 友亮・中村 和樹・若林 裕之(日大)
P 8	InSARを用いたTerraSAR-Xの位相ノイズの評価	○野中 崇志・朝香 智仁・岩下 圭之(日大)・大串 文誉(EXELIS VIS)
P 9	次世代X帯航空機搭載合成開口レーダシステムの概念検討	○児島正一郎・小林達治・松岡建志・梅原俊彦・上本純平・澁井章嗣(NICT)
P 10	天山山脈北部地域における最近の水河湖の変動	○ダイウロフミラン・○奈良間 千之・森 義孝(新潟大)・山之口 勤(RESTEC)・田殿 武雄(JAXA)
P 11	ALOS-2/PALSAR-2を利用して新潟県・長野県北部および熊本県の 地すべり性地表変動のモニタリング方法の検討	○佐藤 紫乃・奈良間 千之(新潟大)・山之口 勤(RESTEC)・田殿 武雄(JAXA)
P 12	地盤変動量解析結果の表示方法について	○中村 貴子・六川 修一(東大)
P 13	タイ・バンコク平野を対象とした地盤変動の時系列モニタリング	○宮下智一・中山裕則(日大)
P 14	SARデータ干渉解析及び粒子法シミュレーションの土砂崩れ災害への適用(熊本県をスタディケースとして)	○イェシ アルフェリナ・佐藤 隆善・富田 邦裕・細見 耕一・伊藤 英恵(株)建設環境研究所)
P 15	現場観測データを用いた分光反射率の分類及びChl-a濃度、濁度推定式の検討	○栗原 周郎・下舞 豊志(島根大)
P 16	汽水域における人工衛星(MODIS1)によるChl-a濃度の推定方法及び大気補正方法の比較	○永富 潤樹・永富 潤樹・下舞 豊志(島根大)
P 17	都市構造の分析における植生分布の空間特性的適用性について	○松田 優花・植松 恒・熊谷 樹一郎(摂南大)
P 18	ザロマ湖海水内クロロフィルa蛍光観測のための海水内光学特性	○朝原康司・中谷忠大・喜田直人(東京農大)
P 19	エアロゾル・リトリールシステムの効率化	○藤戸 俊行・向井 苑生・中田 真木子(京都情報大学院大)
P 20	ディープラーニングによる衛星画像の雲判別の可能性	○山本 純平・外岡 秀行(茨城大)
P 21	Landsat8号のクイックルック画像作成プログラムの開発と公開	○今 和貴・飯倉善和(弘前大)
P 22	サポートベクトル作成手順の違いによるGOSAT-2 CAI-2 L2雲識別への影響評価	○大石 優(東海大)・石田 春磨(気象研)・工藤 良介・山岸 拓矢・中島 孝(東海大)
P 23	衛星画像処理のための土地被覆分類図の比較	○石岡 遠汰・飯倉 善和(弘前大)
P 24	ひまわり8号連続観測データのマルチフレーム処理について	○杉村 俊郎・内田 裕貴・青山 定敬・朝香 智仁(日大)
P 25	高分解能ウィンドプロファイラにおけるスペクトルパラメータ推定手法の開発	○山本 真之・川村 誠治(NICT)・岡本 創(九大)・藤吉 康志(北大)
P 26	高分解能衛星とLANDSAT熱赤外データによる東京都市の地表温度分布特性	○中山 裕則(日大)
P 27	全球土地被覆分類検証のための参照データ作成:FLUXNET情報の利用	○曾山 典子(天理大)
P 28	単発エンジン航空機搭載型放射線スペクトルスキャナ(ARTS-SE)による箱根山(大涌谷)	○賈淵哲也(防災科研)
P 29	ヘドニック・アプローチを用いた東京都23区における樹林地の価値評価	○小林 優介・藤井 秀幸・山本彩(RESTEC)
P 30	新旧異種空間情報にみる特徴的な地形の相似性と都市化	○磯部 邦昭(アジア航測)・杉村 俊郎(日大)
ポスターセッション(2) (P会場, 11月2日(水) ポスター展示 13:00-14:40 (P31)-(P61))		
P 31	高分解能衛星画像の影解析及び3Dモデリングによる低層住宅地における建物階数推定	○樽林 雄飛・外岡 秀行(茨城大)
P 32	レーザー測量データ処理のための赤色立体地図の活用について	○章 乃佳(アジア航測)
P 33	地目変更箇所の自動判読手法の開発	○朱 林・古一 隆行(パスコ)
P 34	衛星画像を用いた海ゴミ抽出法の検証	○青山 隆司(福井工大)
P 35	小型レーザスキャナ搭載UAVシステムを用いた水稲生育モニタリングの試み	○尾高 直人・高橋 一義(長岡技大)
P 36	先端リモートセンシング技術を応用した中部ジャワにおける考古学的地域の調査	○井上 景暁・ヨサファット・テトオコ・スリ・スマンティヨ・久世 宏明(千葉大)
P 37	天山山脈北部地域における山岳永久凍土の分布と発達過程	○高玉 秀之・奈良間 千之・森 義孝(新潟大)・山村 祥子(朝日航洋)・富山 信弘・山之口 勤(RESTEC)・田殿 武雄(JAXA)
P 38	小型レーザスキャナ計測による水稲生育モニタリングの検討	○市川 由輔・高橋 一義(長岡技大)・樋口 泰浩(新潟県)
P 39	ドローンリモートセンシングによる作物・農地の空間診断情報計測とそのスマート農業への応用	○井上 吉雄・横山 正樹(農環研)・大下 泰生・深山 大介(中央農研)・後藤 元(山形農総研)・小手 和徳(千葉大)
P 40	北アルプス・白馬大雪渓における落石分布と地形変化	○島 瞳美・○奈良間 千之(新潟大)・福井 幸太郎(立山カルデラ砂防博物館)
P 41	北アルプスの水河の年間質量収支に関する研究	○山本 達平・奈良間 千之(新潟大)・福井 幸太郎(立山カルデラ砂防博物館)
P 42	低温域におけるASTER/TIRの再校正の検討	○朝木 萌奈・外岡 秀行(茨城大)
P 43	10~13 μm帯におけるTerra/MODIS及びAqua/MODIS間の相互校正の試み(3)	○宮宮 岳・外岡 秀行(茨城大)
P 44	熱赤外マルチスペクトル画像を用いた薄水分類の試み(3)	○須佐 綾太・外岡 秀行(茨城大)
P 45	気象観測地点周辺における気温の低減要因と透水面の分布状態との関連性について	○岩田 健太郎・植松 恒・熊谷 樹一郎(摂南大)
P 46	Himawari-8/AHIとLandsat-8/TIRS間における輝度温度の互換性について	○小黒 剛成・伊藤 征嗣・小西 智久(広島工大)・土屋 清(日本気象技術士会)
P 47	Worldview-3とLANDSAT-8/TIRSによる東京中心域の熱環境の分析	○村本 準・羽柴 秀樹(日大)
P 48	衛星搭載光学センサーを用いた西之島2013~2015年噴火時の噴煙活動評価	○福井 敬一(気象研)
P 49	Sentinel-2Aデータを用いた高温検知	○加藤創史・中村良介(産総研)
P 50	多年度MODIS画像を用いた水田NDVIの季節変化推定手法の検討	○岩持 成郁・高橋 一義(長岡技大)
P 51	Rice field extraction using DTW on time-series of MODIS NDVI data	○マツドウ フェザン・近藤 歩・木村 篤史・望月 貴一郎(パスコ)
P 52	Landsat-8OLI地表面反射率を用いた釧路川流域における未利用農地を含む農地分類	○佐久間 真陽(茨城大)・亀山 哲(国環研)・小野 理・木塚俊和・三上英敏(北海道立総合機構)
P 53	「水稲作付地図」の整備に向けたLandsat画像分類手法の検討	○坂本 利弘・岡本勝男・石塚直樹・David Sprague(農研機構)
P 54	フェノロジーに基づくNDVIを用いた郡上市の森林タイプ区分	○栗屋善雄(岐阜大)
P 55	光-光合成曲線を用いた総生産量推定アルゴリズムの開発:気候モデルによる気象要素の時間変化データ利用に関する考察	○村松 加奈子(奈良女大)・馬淵 和雄(千葉大)・曾山 典子(天理大)
P 56	全球の総生産量キャパシティ推定アルゴリズムの開発: 植生指標Cigreenの異常値検出条件	○米田 詠美・村松 加奈子(奈良女大)
P 57	JICA-JAXA熱帯林早期警戒システムにおける変化抽出手法の検討と試作結果	○小川 崇(RESTEC)・石井 景子・島田 政信(東京電機大)・渡邊 学・金子 豊・渡邊 知弘・林 真智(JAXA)
P 58	波形記録式航空機LiDARデータを用いた森林構造の把握	○前田佳子・福島あゆみ・本田謙一・今井晴児(国際航業)
P 59	多時期Landsat-8 OLIデータとRandom forest分類手法を用いた竹林分布推定	○原 直樹・島崎 彦人(木更津工専)
P 60	異分解能衛星リモートセンシングによるスマトラ島沖地震災害からの植生復元の時系列評価	○吉原 弘一郎・羽柴 秀樹(日大)
P 61	多時期のLandsat-8データを用いた京阪奈地区の竹林の抽出-4	○落合 史生(帝塚山大)・村松 加奈子(奈良女大)・醍醐 元正(同志社大)・曾山 典子(天理大)